

## あ と が き

核データニュースの編集に携わるようになってからもう十数年になる。最初に係わった頃は、核データセンターもまだ核データ研究室と呼ばれていた時代で、今のような編集委員会もなく極く少数の室員が、実質的には1～2名が仕事のかたわら細々と編集に当たっていたものだった。原稿の入手に追われて、発行時期を守るのに汲々としていた。だから、毎号の編集のあとがきでは、発行の遅延の言訳やら詫びごとばかりを書いていた記憶がある。現在は、毎号、100数十ページに及ぶ立派なものが定期的に発行されるようになった。これも、編集委員長の中川さんをはじめ編集委員諸氏の熱意と努力の現れであると感心している。もちろん、執筆者の協力があることである。本号もそうした協力のお陰でお届けできる運びとなった。

先般行われた本号の編集会議で、コンピュータ国際ネットワークの「インターネット」のことが話題になった。原研核データセンターのパソコンはインターネットに繋がっているの、NEA Data BankやBNL/NNDCから核データの情報を直ちに照会、入手できるのだそうだ。詳しくは、次号に解説記事が載る予定になったので大いに期待していただきたい。インターネットと言えば、先般の阪神大震災の際の地震の最大加速度データが、いち早く、これを通じて地震研究者に流されたことを、ある新聞が報道していた。先日、機会があって、原研核データセンターの端末で、インターネットを覗かせて貰ったところ、阪神大震災に関する膨大な情報やデータが見られるのには驚かされた。上記の地震のデータも観測サイトの地図付きで見ることができた。インターネットは遙か遠い存在に思われていたのが、身近くなったの覚えた。でも、どのように利用できるのか、どんなに有効なのか見当が及ばないでいる。次号の解説が大いに楽しみである。

(浅見)

### 核データニュース編集委員会

中川 庸雄(委員長、原研)、浅見 哲夫(データ工学)、井頭 政之(東工大)、  
喜多尾 憲助(データ工学)、柴田 恵一(原研)、高野 秀機(原研)、  
吉田 正(東芝)

核データニュースへのご意見や記事の送付は [nakagawa@cracker.tokai.jaeri.go.jp](mailto:nakagawa@cracker.tokai.jaeri.go.jp) でも受け付けます。

## 正 誤 表

No.50 に以下のような間違いがありました。訂正し、お詫びします。

場 所	誤	正
p. 3 9行	グローバル	グローバル
p.18 13行	実験データはある	実験データのある
p.18 14行	測定値がなかった	測定値がなかった
p.27 15行	放射化断面データ	放射化断面積データ
p.51 8行	あるとし。PWR	あるとし、PWR
p.51 下から2行	問題があと説明	問題があると説明
p.71 下から6行	107年	10 <sup>7</sup> 年
p. 110 13行	<a href="http://www.riken.go.jp/rarf/np/conf.html">http://www.riken.go.jp/rarf/np/conf.html</a>	<a href="http://www.riken.go.jp/rarf/np/npconf.html">http://www.riken.go.jp/rarf/np/npconf.html</a>

### 投 稿 歡 迎

「テクニカル・コメント」、「読者の広場」への投稿を歓迎します。

#### テクニカル・コメント

核データの研究や利用に携わっている方々からの研究の成果やデータについてのコメントなどを掲載します。内容は、核データに関するものであれば、特に制限はしません。原稿の長さは、1件につき刷り上がりで約10ページ以内が適当です。

#### 読者の広場

内容については、特に制限しません。原稿の長さは、刷り上がり5ページ程度にして下さい。

ワープロで作成した原稿を歓迎します。テキスト形式の原稿をフロッピーディスクまたは e-mail でお送りください。原稿の締切は、1月中旬、5月中旬、9月中旬です。